

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	法定外公共用財産管理事務				開始年度	平成17年度	
基本目標	広域行政の推進				終了年度		
担当課(局)	建設管理課	担当係	管理係	記入者	金丸 寿生	評価者	芥田 秀則
21年度決算	千円	22年度予算	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	
21年度人件費	291 千円	22年度人件費	289 千円	事業従事者数	0.04 人	0.04 人	

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	機能を失った法定外の道路・水路を譲渡希望する個人又は法人に払い下げることにより、土地の一体的・有効利用に資する。
事業の内容	道路・水路の機能を失った土地を新たに宅地や農地の一部として有効利用でき、申請者も法的に土地の所有権を確立できる。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 払い下げ件数	土地の有効利用ができる。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 境界確認	土地家屋調査士の依頼により境界の確認を行う。
	2 不法使用の指導	無断使用・占用者への指導。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	払い下げ件数	目標値	1	1	3	
		実績値	1	0		
		達成率	%	100.0%	0.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	境界確認	目標値			20	
		実績値	49	20		
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	不法使用の指導	目標値			3	
		実績値	1	1		
		達成率	%	#VALUE!	#DIV/0!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	国から財産譲与を受けて土地の管理者となっているため、町が行うべき事業。事業廃止は土地の有効利用を図ることができなくなる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	自己所有地との一体的・有効利用を図りたい個人又は法人の希望を叶え、財産処分 の収入があり、また管理困難な財産を減じることができる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	払い下げは徐々に増えている。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	なし。

事務事業名	法定外公共用財産管理事務	担当課(局)	建設管理課
-------	--------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	土地の有効利用を図り、積極的に払い下げる。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎払い下げによる財源の確保は有り難いが、積極的に購入者を探すことは困難であるから、払い下げ申請が提出されたときに的確に対応できる体制作りが必要である。 ◎これからの行政において、このことについては問題が生じてくるであろうから、新築等で払い下げが出来る場合は必ず措置を取り、払い下げるようにする。 ◎有効利用を図るための方策の検討が必要である。
	コスト	現状維持	